

# 『心の色』寸評

- ・きょくたんに動機操作のしつこさが耳につく
- ・発想をひろげるためではなくたんに動機にしがみついたための対位法になってしまっている
- ・対位法へのとらわれをいったんクリアしよう
- ・タイトルはそれぞれのふくらみをもたせられてよい

## 完成度をさらに上げるために

- ・二声のばあいベースの役割がきちんと把握されていないと特に不十分にうつる
- ・根音が強拍に落ちているか、転回形なら他声部と構成音は維持されているか 勝手にうごかしても耳はなっとくしない
- ・リズム型 ♩ ♪ の音程関係が m.1-4 でバラバラモチーフとして扱っているにしては支離滅裂
- ・メロディをキチッと書いてそれに合うベースを工夫するだけでまずはよい

たとえばベースの音型を厳格にたもってみた例

♩=80

mf

mf

sfz

5

molto

m.=measure 小節番号のことです。

いちどピアノにふい音楽を書くことに専念しよう。

待庵 勉